光明中学校だより

ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中　～人と人のつながりがたからもの～

第９号【令和７年９月８日】　生駒市立光明中学校　校長 斉藤 稔

愛と勇気の物語

朝の連続テレビ小説「あんぱん」は、「アンパンマン」の生みの親であるやなせたかしさんと、妻・暢さんの夫婦をモデルにした作品です。生きる意味を見失い、苦悩の日々を過ごしながらも、夢を諦めずに歩み続けた二人の人生が描かれています。何者でもなかった二人が、数々の困難を乗り越え、“逆転しない正義”を体現した「アンパンマン」にたどり着くまでの物語は、見る人の心に深く響き、生きる喜びを感じさせてくれます。

アンパンマンは、今も幼児たちに絶大な人気を誇るヒーローですが、やなせさんは「世界最弱のヒーロー」と語っています。アンパンでできた顔は、雨に濡れたり泥がついたりすると弱ってしまい、ジャムおじさんに新しい顔を作ってもらわないと戦えません。それでも、お腹をすかせた人を見かけると、自分の顔をちぎって食べさせてあげます。自分が弱ってしまうとわかっていても、助けずにはいられないのです。やなせさんは言います。「本当の正義の味方とは、悪者を倒すことよりも、困っている人を当たり前のように助けたり、親切にしてあげたりできる、すぐ近くにいる普通の人」であると。

この夏、光明中学校の生徒が、部活動の練習試合に向かう途中、バス停で苦しそうな表情を浮かべ、うつむいている人に気づきました。炎天下の中、熱中症と思われるその方に、生徒は自分の水筒をそっと差し出しました。それは、朝から冷たいお茶を満タンに入れてきた、練習試合に欠かせない大切な水筒でした。生徒はその後、自分のための水分を持たずに試合会場へ向かったそうです。後日、その水筒は学校に届けられ、小さなメモが貼られていました。そこには、お茶をいただいたことへの感謝の言葉が丁寧に記されていました。

この話を聞いて、私はアンパンマンのことを思い出しました。身近なところにも、愛と勇気の物語はあります。困っている人を当たり前のように助けたり、親切にしてあげたりできる生徒たち。優しさは伝播します。きっと、私の耳に届いていないところでも、光明中学校の生徒たちの優しさの種は育っていることでしょう。ありがとう。

２学期が始まりました。

学校に生徒たちのにぎやかな声が戻ってきました。２学期は、文化発表会をはじめとして、さまざまな学校行事が目白押しです。まずは来週の文化発表会に向けて、部活動・学年・教科ごとに準備が進められています。活動の様子を見に行くと、生徒たちの生き生きとした表情がとても印象的で、学校行事を通した生徒たちの成長を感じさせられます。文化発表会は、前半を体育館で、後半は教室でのオンライン配信で実施いたします。生徒たちの姿をぜひご覧いただきたく、ご来校を心よりお待ちしております。